

「やっと入学式」

福井・明倫中など 県内公立小中で最後



待ちに待った入学式を迎え、記念撮影をする生徒や家族
29日、福井市明倫中(田中奈々子撮影)

福井市の公立小中学校73校と福井大附属義務教育学校で29日、約2カ月遅れの入学式が行われた。新緑の中、明倫中では夏服に身を包んだ、マスク姿の新1年生約240人が門をくぐった。

会場は可能な限り座席の前後の間隔を空け、上級生の出席は見合わせた。新入生は終始緊張した面持ちで式に臨んでいた。中島沙彩子さん(12)は「早く学校に行きたいと思っていた。やっと入学式を迎えられてうれしい。部活も、新しい友達をつくるのも楽しみ」と、1日からの学校生活に胸を弾ませていた。

県教委によると、公立小中学校の入学式は4月初旬に5市町、ゴールデンウィーク(GW)明けの5月7、9日に8市町、同21、23日に3市町で行われており、県内の自治体では福井市が最後。当初4月8日を予定していたが、GW後の新型コロナウイルスの感染状況を見極めるため延期していた。

県立学校は式を予定していた全ての学校が6月1日までを終える。私立校では北陸中、仁愛女子高、啓新高、福井南高が5月上旬に実施。敦賀気比中高は6月1日、北陸高は5月27日、6月2日に分けて行う。かつやま子どもの村小・中学校は1日以降に行う。福井商高と丹生高、福井工大福井中高は中止となった。

明倫中では午後1時ごろから新入生と保護者が次々と来校した。入学式の看板前では列をなし、順番に記念撮影。撮影の際にはマスクを外して笑顔を見せる生徒の姿もあった。

栗原愛